

前回調査との調査事項対照表

調査員記入事項

調査事項		平成15年住宅需要実態調査	平成20年住生活総合調査(案) (下線:平成15年調査からの変更箇所)	変更理由等
世帯属	世帯の種類	1. 同居世帯のない世帯 2. 同居世帯のある世帯 3. 同居世帯	削除	・平成20年住宅・土地統計調査との同世帯配布を実施するため削除とする。
	住戸の種類	1. 専用住宅 2. 農林漁業併用住宅 3. 店舗その他の併用住宅 4. 住宅以外の建物	削除	・平成20年住宅・土地統計調査との同世帯配布を実施するため削除とする。
住宅属性	住宅の建て方	1. 一戸建住宅 2. 長屋建住宅 3. 共同住宅(団地) 4. 共同住宅(その他) 5. その他	削除	・平成20年住宅・土地統計調査との同世帯配布を実施するため削除とする。
	住宅の構造	1. 木造(防火木造を除く) 2. 防火木造 3. 鉄筋・鉄骨鉄筋コンクリート造 4. 鉄骨造 5. その他	削除	・平成20年住宅・土地統計調査との同世帯配布を実施するため削除とする。
	住宅の老朽度	1. 無・小修理 2. 大修理	削除	・平成20年住宅・土地統計調査との同世帯配布を実施するため削除とする。
	敷地に接している道路の幅員	1. 2m未満 2. 2~4m未満 3. 4~6m未満 4. 6~8m未満 5. 8~10m未満 6. 10~12m未満 7. 12m以上 8. 接していない	削除	・平成20年住宅・土地統計調査との同世帯配布を実施するため削除とする。
	建物全体の階数	23 24 階建	削除	・平成20年住宅・土地統計調査との同世帯配布を実施するため削除とする。
	<共同住宅> 居住する住戸の階	25 26 階	削除	・利用頻度が低い調査事項のため削除とする。
	<共同住宅> 建築面積	27 28 29 30 31 32 m ² 十 万 千 百 十 一	削除	・平成20年住宅・土地統計調査との同世帯配布を実施するため削除とする。
	<共同住宅> 敷地面積	33 34 35 36 37 38 m ² 十 万 千 百 十 一	削除	・平成20年住宅・土地統計調査との同世帯配布を実施するため削除とする。

：平成20年住宅・土地統計調査(案)との同世帯配布を実施するため削除となる調査事項

：住生活基本計画(都道府県計画)の成果指標を推計する上で必要な調査事項

：左記以外で、住生活基本計画(都道府県計画)を策定する上で分析対象となっている調査事項

：都道府県への意見照会(H19.3)で選択肢の変更要望があった調査事項

世帯主記入事項

調査事項	平成15年住宅需要実態調査	平成20年住生活総合調査(案) (下線:平成15年調査からの変更箇所)	変更理由等																																										
世帯属性 世帯人員	23 世帯員(世帯主を含む)の状況はどうか。 *単身赴任などで3ヶ月以上不在の人は除きます。 *住み込みの家事手伝いも含めます。住み込みの従業員や下宿人は別の世帯として人員から除きます。 (ア)世帯人員(世帯主を含む)は何人ですか。 ○世帯人員の合計……□人	削除	・平成20年住宅・土地統計調査との同世帯配布を実施するため削除とする。																																										
世帯員の男女の別や年齢など	23 (イ)各世帯員の男女の別や年齢など *年齢は平成15年12月1日現在の歳年齢を書いて下さい。 *続柄は、世帯の家計を支える人との続柄を右の選択肢の中から選んで書いて下さい。 *世帯の家計を支える人とは、その世帯の家計の主たる収入を得ている人をいいます。他の世帯からの送金等により家計を支えている場合は、あなたの世帯の世帯主を世帯の家計を支える人として下さい。 *家計を支える収入の有無は、家計を支える人以外についても回答して下さい。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>男女の別</th> <th>年齢</th> <th>家計を支える収入の有無</th> <th>配偶者の有無</th> <th>続柄</th> <th>続柄の選択肢</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1. 男 2. 女</td> <td>□歳</td> <td>1.有 2.無</td> <td>1.有 2.無</td> <td>□</td> <td>01.本人 02.配偶者</td> </tr> <tr> <td>3. 男 4. 女</td> <td>□歳</td> <td>1.有 2.無</td> <td>1.有 2.無</td> <td>□</td> <td>03.子 04.子の配偶者</td> </tr> <tr> <td>5. 男 6. 女</td> <td>□歳</td> <td>1.有 2.無</td> <td>1.有 2.無</td> <td>□</td> <td>05.父母 06.配偶者の父母</td> </tr> <tr> <td>7. 男 8. 女</td> <td>□歳</td> <td>1.有 2.無</td> <td>1.有 2.無</td> <td>□</td> <td>07.孫 08.祖父母</td> </tr> <tr> <td>9. 男 10. 女</td> <td>□歳</td> <td>1.有 2.無</td> <td>1.有 2.無</td> <td>□</td> <td>09.兄弟姉妹 10.他の親族</td> </tr> <tr> <td>11. 男 12. 女</td> <td>□歳</td> <td>1.有 2.無</td> <td>1.有 2.無</td> <td>□</td> <td>11.その他</td> </tr> </tbody> </table>	男女の別	年齢	家計を支える収入の有無	配偶者の有無	続柄	続柄の選択肢	1. 男 2. 女	□歳	1.有 2.無	1.有 2.無	□	01.本人 02.配偶者	3. 男 4. 女	□歳	1.有 2.無	1.有 2.無	□	03.子 04.子の配偶者	5. 男 6. 女	□歳	1.有 2.無	1.有 2.無	□	05.父母 06.配偶者の父母	7. 男 8. 女	□歳	1.有 2.無	1.有 2.無	□	07.孫 08.祖父母	9. 男 10. 女	□歳	1.有 2.無	1.有 2.無	□	09.兄弟姉妹 10.他の親族	11. 男 12. 女	□歳	1.有 2.無	1.有 2.無	□	11.その他	削除	・平成20年住宅・土地統計調査との同世帯配布を実施するため削除とする。
男女の別	年齢	家計を支える収入の有無	配偶者の有無	続柄	続柄の選択肢																																								
1. 男 2. 女	□歳	1.有 2.無	1.有 2.無	□	01.本人 02.配偶者																																								
3. 男 4. 女	□歳	1.有 2.無	1.有 2.無	□	03.子 04.子の配偶者																																								
5. 男 6. 女	□歳	1.有 2.無	1.有 2.無	□	05.父母 06.配偶者の父母																																								
7. 男 8. 女	□歳	1.有 2.無	1.有 2.無	□	07.孫 08.祖父母																																								
9. 男 10. 女	□歳	1.有 2.無	1.有 2.無	□	09.兄弟姉妹 10.他の親族																																								
11. 男 12. 女	□歳	1.有 2.無	1.有 2.無	□	11.その他																																								
別世帯となっている子との住まい方	23 (ウ)別世帯となっている子との現在の住まい方について、あてはまるもの1つに○をつけて下さい。 *子どもの配偶者も子に含めます。 *別世帯となっている子が2人以上いる場合は最も近くに住んでいる子について記入して下さい。 <ol style="list-style-type: none"> 同居している(二世帯住宅を含む) 同一敷地内、または同一住棟(長屋建住宅・共同住宅)の別の住宅に住んでいる すぐ近く(歩いて10分以内)に住んでいる 同一市区町村内に住んでいる 同一市区町村外に住んでいる 別世帯の子はいない 	15 設問順を変更(トピックと同じ問15へ) ・設問の変更 (ア)子との現在の住まい方について、あてはまるもの1つに をつけて下さい。 *子どもの配偶者も子に含めます。 *別世帯となっている子が2人以上いる場合は最も近くに住んでいる子について記入して下さい。 ・選択肢の変更 <ol style="list-style-type: none"> 子はいない 子がいる 子との距離 <ol style="list-style-type: none"> 同居している(二世帯住宅を含む) 同一敷地内、または同一住棟(長屋建・共同住宅)の別の住宅に住んでいる 徒歩5分程度の場所に住んでいる 片道15分未満の場所に住んでいる 片道1時間未満の場所に住んでいる 片道1時間以上の場所に住んでいる 	・親世帯と子世帯の隣居・近居による子育てや高齢者介護等の支え合いが近年見られるようになってきている。こうした住まい方を把握するためには、街がどの街にいるかよりも、どの程度の時間内の場所に住んでいるかた重要である。また、主旨からは「別世帯」であるかどうかは関係ないため、選択肢の変更と共に、設問内容を簡潔なものとする。																																										
[追加設問] 別世帯となっている親との住まい方	追1	15 ・設問の追加 (ウ)親との現在の住まい方について、あてはまるもの1つに をつけて下さい。 *配偶者の親も親に含めます。 *別世帯となっている親が2人以上いる場合は最も近くに住んでいる親について記入して下さい。 <ol style="list-style-type: none"> 親はいない 親がいる 親との距離 <ol style="list-style-type: none"> 同居している(二世帯住宅を含む) 同一敷地内、または同一住棟(長屋建・共同住宅)の別の住宅に住んでいる 徒歩5分程度の場所に住んでいる 片道15分未満の場所に住んでいる 片道1時間未満の場所に住んでいる 片道1時間以上の場所に住んでいる 	・親世帯と子世帯の隣居・近居による子育てや高齢者介護等の支え合いが近年見られるようになってきている。 ・その状況を詳細に把握するために、従来の子世帯との住まい方に加え、親世帯との住まい方に関する調査事項を新設。																																										
[追加設問] 要介護認定者の有無	追2	14 ・設問の追加 あなたの世帯に要介護認定等を受けている方はいますか。また、「要介護認定等を受けている者がいる」場合、その要介護度等についてあてはまるもの1つに をつけて下さい。 *要介護認定等を受けている方が複数いる場合は、最も重度な要介護度等の方について記入してください。 <ol style="list-style-type: none"> 要介護認定等を受けている者はいない 要介護認定等を受けている者がいる <ol style="list-style-type: none"> 要介護度等 1.要支援1 2.要支援2 3.要介護1 4.要介護2 5.要介護3 6.要介護4 7.要介護5 	・平成15年までの調査では、高齢者は年齢だけで一括りにされているが、実際には健康度や介護保険受給程度などによって、住宅の評価やサービスの必要性が異なっている。高齢者の内訳をよりの確に把握するため、要介護認定等の状況に関する調査事項を新設。																																										

：平成20年住宅・土地統計調査(案)との同世帯配布を実施するため削除となる調査事項

：住生活基本計画(都道府県計画)の成果指標を推計する上で必要な調査事項

：左記以外で、住生活基本計画(都道府県計画)を策定する上で分析対象となっている調査事項

：都道府県への意見照会(H19.3)で選択肢の変更要望があった調査事項

調査事項		平成15年住宅需要実態調査		平成20年住生活総合調査(案) (下線:平成15年調査からの変更箇所)		変更理由等		
世帯属性	世帯の年収	24	世帯全員のこの一年間の収入(税込み)はどのくらいですか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。 *家族全員の収入ですので主婦の内職、パートなどによる収入なども含めます。また、ボーナス・残業手当や、配当金など財産収入、年金・仕送り金なども含めます。ただし、相続・贈与や退職金などの一時的収入は含めません。 *自営業の方は、売上高でなく営業利益を答えて下さい。	01. 200万円未満 02. 200~300万円未満 03. 300~400万円未満 04. 400~500万円未満 05. 500~600万円未満 06. 600~700万円未満 07. 700~800万円未満	08. 800~900万円未満 09. 900~1000万円未満 10. 1000~1200万円未満 11. 1200~1500万円未満 12. 1500~2000万円未満 13. 2000万円以上	削除		・平成20年住宅・土地統計調査との同世帯配布を実施するため削除とする。
	[追加設問] 所有する不動産	追3	削除		19	・設問の追加 あなたの世帯で所有する資産についてうかがいます。 (ア)平成20年 月 日現在、あなたの世帯で所有する全ての不動産(土地・建物)の価値はどれくらいですか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。 *固定資産税評価額に基づき答えて下さい。 *現在お住まいの住宅以外に所有している住宅や宅地、農地、山林など全ての不動産を含みます。 1. 不動産は所有していない 2. 1,000万円未満 3. 1,000~3,000万円未満 4. 3,000~5,000万円未満 5. 5,000~1億円未満 6. 1億円以上	・住宅の取得や住み替え、改善に対する意向には、所得や資産、負債状況が大きな影響を与えるため、所有する不動産、貯蓄、住宅ローンに関する調査事項を新設。	
	[追加設問] 貯蓄残高	追4	削除		19	・設問の追加 (イ)平成20年 月 日現在、あなたの世帯の貯蓄残高は総額いくらありますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。 *ここでいう貯蓄は、預貯金、保険、株式、投資信託(時価)、貸付信託・金銭信託(額面)、債券(額面)を指します。 *家計用だけではなく個人営業のための分も含めます。 *負債残高は含まず計算して下さい。 1. 100万円未満 2. 100~500万円未満 3. 500~1,000万円未満 4. 1,000~3,000万円未満 5. 3,000~5,000万円未満 6. 5,000万円以上		
	[追加設問] <持家> 住宅ローン残高	追5	削除		20	・設問の追加 (ア)平成20年 月 日現在、あなたの世帯の住宅ローン残高は総額いくらありますか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。 1. 住宅ローンを組んだことはない 2. 住宅ローンは完済している 3. 1,000万円未満 4. 1,000~3,000万円未満 5. 3,000~5,000万円未満 6. 5,000万円以上		
	[追加設問] <持家> 住宅ローン返済期間	追6	削除		20	・設問の追加 (イ)(ウ)は住宅ローンがある方(ア)で3~6と答えた方)のみ答えて下さい。 (イ)住宅ローンの返済期間は残りどれくらいですか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。 *現時点で、残りの返済期間が最も長い住宅ローンについて答えて下さい。 1. 5年未満 2. 5~10年未満 3. 10~15年未満 4. 15~20年未満 5. 20~25年未満 6. 25~30年未満 7. 30年以上		
	<持家> 住宅ローン返済額	6	削除		20	(変更なし)		
<持家> 住宅の管理費等	6	住居費負担についてうかがいます。 *金額は千円未満を四捨五入し、支払のない場合は千円の欄に0と記入して下さい。 持家の方のみ答えて下さい。 (ア)住宅ローンの返済(土地代を含みます)、住宅の管理費等、及び借地料の支払金額があれば、その金額を答えて下さい。 ○月平均のローン返済額 □ □ □ □ 000円 *この1年間に支払う毎月のローン返済額にボーナス月の返済額を加えて12で割ったもの <共同住宅にお住まいの方> ○毎月の管理費等 □ □ □ □ 000円 *管理組合費、修繕積立金等を含む <敷地を借りられている方のみ> ○月あたり借地料 □ □ □ □ 000円		20	・設問の変更 <共同住宅にお住まいの方> 毎月の管理費 □ □ □ □ 000円 *管理組合を含む 毎月の修繕積立金 □ □ □ □ 000円	・住生活基本計画(全国計画)では、長期修繕計画に基づく修繕積立金額を設定している分譲マンション管理組合の割合を成果指標に設定している。 ・修繕積立金の状況を詳細に把握するため、住宅の管理費に関する調査事項を変更する形で、修繕積立金に関する調査事項を新設する。		
<持家> 借地料	6	削除		20	(変更なし)			

：平成20年住宅・土地統計調査(案)との同世帯配布を実施するため削除となる調査事項

：住生活基本計画(都道府県計画)の成果指標を推計する上で必要な調査事項

：左記以外で、住生活基本計画(都道府県計画)を策定する上で分析対象となっている調査事項

：都道府県への意見照会(H19.3)で選択肢の変更要望があった調査事項

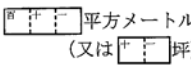

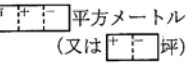

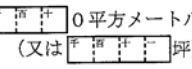

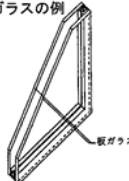
調査事項	平成15年住宅需要実態調査	平成20年住生活総合調査(案) (下線:平成15年調査からの変更箇所)	変更理由等
住宅属性 <持家以外> 住宅の家賃及び共益費等	6 持家以外の方のみ答えて下さい。 (イ) 毎月の家賃及び共益費等の合計金額を答えて下さい。 ○毎月の家賃及び共益費等…… <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 000円 *共益費、共用部分の電気料・水道料・清掃費等を含む	削除	・平成20年住宅・土地統計調査との同世帯配布を実施するため削除とする。
世帯主の職業	25 (ア) 世帯の家計を主に支える人の職業は何ですか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。 1. 常雇(会社・団体・公社又は個人) 5. 自営業主(商工その他) 2. 常雇(官公庁) 6. 無職(学生) 3. 臨時雇 7. 無職(その他) 4. 自営業主(農林漁業)	削除	・平成20年住宅・土地統計調査との同世帯配布を実施するため削除とする。
通勤時間	25 (イ) 世帯の家計を主に支える人の就業先までの通勤時間(片道)はどのくらいですか。あてはまるもの1つに○をつけて下さい。 *無職の方は答えなくて下さい。 1. 住み込み・自宅 6. 1時間～1時間15分未満 2. 15分未満 7. 1時間15分～1時間30分未満 3. 15～30分未満 8. 1時間30分～2時間未満 4. 30～45分未満 9. 2時間以上 5. 45分～1時間未満	削除	・平成20年住宅・土地統計調査との同世帯配布を実施するため削除とする。
住宅の所有関係	1 現在お住まいの住宅は次のどれにあたりますか。 (ア) 住宅の所有関係 1. 持家 4. 公団・公社などの賃貸住宅 2. 民営の賃貸住宅 5. 給与住宅(社宅・公務員住宅など) 3. 都道府県・市区町村営賃貸住宅 6. その他	削除	・平成20年住宅・土地統計調査との同世帯配布を実施するため削除とする。
<持家のみ> 敷地の所有関係	1 持家の方のみ答えて下さい。 (イ) 敷地の所有関係 1. 所有地 2. 一般の借地権 3. 定期借地権 4. その他	削除	・平成20年住宅・土地統計調査との同世帯配布を実施するため削除とする。
入居時期	2 (ア) 現在のお住まいに入居したのはいつですか。 *入居した住宅が建て替えられた場合には建て替え以前の入居時期を記入して下さい。 01. 昭和25年以前 06. 昭和61～平成2年 11. 平成13年 02. 昭和26～35年 07. 平成3～7年 12. 平成14年 03. 昭和36～45年 08. 平成8～10年 13. 平成15年 04. 昭和46～55年 09. 平成11年 05. 昭和56～60年 10. 平成12年	削除	・平成20年住宅・土地統計調査との同世帯配布を実施するため削除とする。
住宅の建築時期	2 (イ) 現在お住まいの住宅の建築時期はいつですか。 *増改築をした場合は、その部分が現住宅の床面積の合計の半分以上であれば、その時期を建築の時期とします。 01. 昭和25年以前 06. 昭和61～平成2年 11. 平成13年 02. 昭和26～35年 07. 平成3～7年 12. 平成14年 03. 昭和36～45年 08. 平成8～10年 13. 平成15年 04. 昭和46～55年 09. 平成11年 05. 昭和56～60年 10. 平成12年	削除	・平成20年住宅・土地統計調査との同世帯配布を実施するため削除とする。
居住室の室数	3 (ア) 居住室は何室ですか。 *あなたの世帯で使用している居住室に限ります。 *居住室とは寝室・居間・書斎・食事室・台所兼食事室(流しを除いた部分が3畳以上のもの)などをいいます。 *玄関・トイレ・台所・浴室・廊下・店舗・事務室は含めません。 ○居住室の数…… <input type="text"/> 室	削除	・平成20年住宅・土地統計調査との同世帯配布を実施するため削除とする。
居住室の畳数	3 (イ) その居住室の広さは全体で何畳ですか。 *畳を敷いていない居住室は、3.3平方メートル(1坪) = 2畳で換算して下さい。 ○居住室の畳数の合計…… <input type="text"/> 畳	削除	・平成20年住宅・土地統計調査との同世帯配布を実施するため削除とする。

：平成20年住宅・土地統計調査(案)との同世帯配布を実施するため削除となる調査事項

：住生活基本計画(都道府県計画)の成果指標を推計する上で必要な調査事項

：左記以外で、住生活基本計画(都道府県計画)を策定する上で分析対象となっている調査事項

：都道府県への意見照会(H19.3)で選択肢の変更要望があった調査事項

調査事項	平成15年住宅需要実態調査	平成20年住生活総合調査(案) (下線:平成15年調査からの変更箇所)	変更理由等
住宅属性 住宅の床面積	3 (ウ) 床面積は何平方メートル(又は何坪)ですか。 *床面積には居住室の床面積のほか、その住宅に含まれる玄関・トイレ・台所・浴室・廊下・押入も含めます。ただし農家の土間などや営業用に使用している部分、例えば店・事務室の部分等、固定的な仕切りで仕切られていない場合はその部分の床面積も含めます。 ○床面積……  平方メートル(又は  坪)	削除	・平成20年住宅・土地統計調査との同世帯配布を実施するため削除とする。
<一戸建・長屋建> 1階の床面積	3 (エ) (オ)は一戸建・長屋建の方のみ答え下さい。 (エ) 上記のうち1階の床面積は何平方メートル(又は何坪)ですか。 ○1階の床面積……  平方メートル(又は  坪)	削除	・平成20年住宅・土地統計調査との同世帯配布を実施するため削除とする。
<一戸建・長屋建> 敷地面積	3 (オ) 敷地面積は何平方メートル(又は何坪)ですか。 *長屋建の場合は、各住戸についての敷地面積を記入して下さい。 (10平方メートル未満四捨五入) ○敷地面積……  0平方メートル(又は  坪)	削除	・平成20年住宅・土地統計調査との同世帯配布を実施するため削除とする。
便所の有無	4 現在お住まいの住宅の設備や居住性能は次のどれにあたりますか。 (ア) 住戸内にトイレはありますか。 1. 洋式トイレあり 2. 洋式以外のトイレあり 3. なし	削除	・平成20年住宅・土地統計調査との同世帯配布を実施するため削除とする。
台所・浴室の有無	4 (イ) 住戸内に台所、浴室はありますか。 1. 両方あり 2. 台所のみあり 3. 浴室のみあり 4. いずれもなし	削除	・平成20年住宅・土地統計調査との同世帯配布を実施するため削除とする。
床が傾いている箇所の有無	4 (ウ) 住宅内に床が傾いているところがありますか。 1. あり 2. なし 3. わからない	削除	・住宅の腐朽状況に関する指標として平成15年調査に新設されたが、調査員記入事項において腐朽状況に関する事項が設けられたこともあり削除。
結露の状況	4 (エ) 住宅内の壁(特に家具の裏側、押入の中など)に結露が出ますか。 1. ほとんど出ない 2. 少し出るが、問題にならない(カビなど生じない) 3. かなり出る 4. わからない	削除	・住宅の省エネ性能に関する指標として平成15年調査に新設されたが、住生活基本計画の成果指標としては2重サッシの有無が活用されることとなり、当該事項の必要性が低いため削除。
温度を伝えにくい建具の有無	4 (オ) 窓に温度を伝えにくい建具が使われていますか。 *温度を伝えにくい建具とは、ペアガラスや二重窓、三重窓などのことをいいます。 1. すべての窓に使われている 2. 一部の窓に使われている 3. 使われていない 	削除	・平成20年住宅・土地統計調査との同世帯配布を実施するため削除とする。

：平成20年住宅・土地統計調査(案)との同世帯配布を実施するため削除となる調査事項

：住生活基本計画(都道府県計画)の成果指標を推計する上で必要な調査事項

：左記以外で、住生活基本計画(都道府県計画)を策定する上で分析対象となっている調査事項

：都道府県への意見照会(H19.3)で選択肢の変更要望があった調査事項

調査事項		平成15年住宅需要実態調査		平成20年住生活総合調査(案) (下線:平成15年調査からの変更箇所)		変更理由等																																																																							
住宅属性	高齢者等への配慮	4	(カ) 高齢者等への配慮はされていますか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。 1. 手すりがある 2. またぎやすい高さの浴槽 3. 廊下などが車いすで通行可能な幅 4. 段差のない屋内 5. 道路から玄関まで車いすで通行可能 6. これらの配慮はされていない	削除		・平成20年住宅・土地統計調査との同世帯配布を実施するため削除とする。																																																																							
	<手すりあり> 手すりの設置場所	4	手すりがある方(カ)で1と答えた方のみ答えて下さい。 (キ) 手すりの設置場所(あてはまるものすべて) 1. 玄関 2. トイレ 3. 浴室 4. 脱衣所 5. 廊下 6. 階段 7. 居住室 8. その他			・平成20年住宅・土地統計調査との同世帯配布を実施するため削除とする。																																																																							
居住意識	住宅に対する総合評価	5	(ア) 現在お住まいの住宅について総合的にみてどのように思っていますか。 1. 満足している 2. まあ満足している 3. 多少不満がある 4. 非常に不満がある	1	設問順を変更((イ)へ) ・設問の変更 (イ) (ア)のうち、現在お住まいの住宅についてどのように思っていますか。	・住宅・居住環境に関する総合評価(満足度)、住宅・居住環境の各要素に対する評価(満足度)、重要度が一連の調査事項として記入者が理解しやすいよう、設問順を変更。 ・平成15年調査では、「住宅及び住環境に対する総合評価」に関する事項が最後に設けられており、その直上の「住環境に対する総合評価」に対する回答の影響を受けることが考えられる。 ・そのため、設問順を組み換え、「住宅及び居住環境に対する総合評価」を冒頭に設け、その中の一要素として当該事項を位置づけることとする。																																																																							
	住宅の各要素に対する評価	5	(イ) 現在お住まいの住宅についていかがいます。次に示す①~⑬のそれぞれの項目について、どのように思っていますか。右に示す4段階の満足度のうちあてはまるもの1つに○をつけて下さい。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>満足している</th> <th>まあ満足している</th> <th>多少不満がある</th> <th>非常に不満がある</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①住宅の広さ・間取り</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> <tr><td>②収納スペース</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> <tr><td>③地震・台風時の住宅の安全性</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> <tr><td>④火災時の避難の安全性</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> <tr><td>⑤住宅の防犯性</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> <tr><td>⑥住宅のいたみの少なさ</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> <tr><td>⑦住宅の維持や管理のしやすさ</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> <tr><td>⑧住宅の断熱性や気密性</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> <tr><td>⑨冷暖房の費用負担などの省エネルギー対応</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> <tr><td>⑩高齢者等への配慮(段差がないなど)</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> <tr><td>⑪換気性能(臭気や煙などの残留感がない)</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> <tr><td>⑫居間など主たる居住室の採光</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> <tr><td>⑬外部からの騒音などに対する遮音性</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr> </tbody> </table>		満足している	まあ満足している	多少不満がある	非常に不満がある	①住宅の広さ・間取り	1	2	3	4	②収納スペース	1	2	3	4	③地震・台風時の住宅の安全性	1	2	3	4	④火災時の避難の安全性	1	2	3	4	⑤住宅の防犯性	1	2	3	4	⑥住宅のいたみの少なさ	1	2	3	4	⑦住宅の維持や管理のしやすさ	1	2	3	4	⑧住宅の断熱性や気密性	1	2	3	4	⑨冷暖房の費用負担などの省エネルギー対応	1	2	3	4	⑩高齢者等への配慮(段差がないなど)	1	2	3	4	⑪換気性能(臭気や煙などの残留感がない)	1	2	3	4	⑫居間など主たる居住室の採光	1	2	3	4	⑬外部からの騒音などに対する遮音性	1	2	3	4	1	設問順を変更((工)へ) ・設問の変更 (工) 現在お住まいの住宅についていかがいます。次に示す01~15のそれぞれの項目について、どのように思っていますか。右に示す4段階の満足度のうちあてはまるもの1つに○をつけて下さい。 ・選択肢の変更 01.住宅の広さや間取り 02.収納の多さ、使いやすさ 03.台所・トイレ・浴室等の使いやすさ、広さ 04.地震・台風時の住宅の安全性 05.火災時の避難の安全性 06.住宅の防犯性 07.住宅のいたみの少なさ 08.住宅の維持や管理のしやすさ 09.住宅の断熱性や気密性 10.冷暖房の費用負担などの省エネルギー対応 11.高齢者等への配慮(段差がないなど) 12.換気性能(臭気や煙などの残留感がない) 13.居間など主たる居住室の採光 14.外部からの騒音などに対する遮音性 15.上下階や隣戸からの騒音などに対する遮音性	・一部の選択肢については、評価を行いやすいよう表現を変更。 ・また、騒音に関して、共同住宅では外部からの騒音と上下階や隣戸からの騒音では状況が異なるため、選択肢を追加。	
	満足している	まあ満足している	多少不満がある	非常に不満がある																																																																									
①住宅の広さ・間取り	1	2	3	4																																																																									
②収納スペース	1	2	3	4																																																																									
③地震・台風時の住宅の安全性	1	2	3	4																																																																									
④火災時の避難の安全性	1	2	3	4																																																																									
⑤住宅の防犯性	1	2	3	4																																																																									
⑥住宅のいたみの少なさ	1	2	3	4																																																																									
⑦住宅の維持や管理のしやすさ	1	2	3	4																																																																									
⑧住宅の断熱性や気密性	1	2	3	4																																																																									
⑨冷暖房の費用負担などの省エネルギー対応	1	2	3	4																																																																									
⑩高齢者等への配慮(段差がないなど)	1	2	3	4																																																																									
⑪換気性能(臭気や煙などの残留感がない)	1	2	3	4																																																																									
⑫居間など主たる居住室の採光	1	2	3	4																																																																									
⑬外部からの騒音などに対する遮音性	1	2	3	4																																																																									

：平成20年住宅・土地統計調査(案)との同世帯配布を実施するため削除となる調査事項

：住生活基本計画(都道府県計画)の成果指標を推計する上で必要な調査事項

：左記以外で、住生活基本計画(都道府県計画)を策定する上で分析対象となっている調査事項

：都道府県への意見照会(H19.3)で選択肢の変更要望があった調査事項

調査事項		平成15年住宅需要実態調査	平成20年住生活総合調査(案) (下線:平成15年調査からの変更箇所)	変更理由等																																																												
居住意識	住環境に対する総合評価	5 (ウ) 現在お住まいの住宅のまわりの環境について総合的にみてどのように思っていますか。 1. 満足している 2. まあ満足している 3. 多少不満がある 4. 非常に不満がある	1 ・設問の変更 (ウ) (ア)のうち、現在お住まいの住宅のまわりの環境についてどのように思っていますか。	・住宅・居住環境に関する総合評価(満足度)、住宅・居住環境の各要素に対する評価(満足度)、重要度が一連の調査事項として記入者が理解しやすいよう、設問順を変更。 ・「住宅及び居住環境に対する総合評価」を冒頭に設け、その中の一要素として当該事項を位置づけることとする。																																																												
	居住環境の各要素に対する評価	5 (エ) 現在お住まいの住宅のまわりの環境についてうかがいます。次に示す①～⑩のそれぞれの項目について、どのように思っていますか。右に示す4段階の満足度のうちあてはまるもの1つに○をつけて下さい。 <table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <td></td> <td>満足している</td> <td>まあ満足している</td> <td>多少不満がある</td> <td>非常に不満がある</td> </tr> <tr> <td>①火災・地震・水害などに対する安全</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>②まわりの道路の歩行時の安全</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>③治安、犯罪発生の防止</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>④騒音、大気汚染などの少なさ</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>⑤通勤・通学などの利便</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>⑥日常の買い物、医療・福祉施設・文化施設などの利便</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>⑦子供の遊び場・公園など</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>⑧緑・水辺など自然とのふれあい</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>⑨敷地の広さや日当たり、風通しなど空間のゆとり</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>⑩まちなみ・景観</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>⑪近隣の人たちやコミュニティとの関わり</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </table>		満足している	まあ満足している	多少不満がある	非常に不満がある	①火災・地震・水害などに対する安全	1	2	3	4	②まわりの道路の歩行時の安全	1	2	3	4	③治安、犯罪発生の防止	1	2	3	4	④騒音、大気汚染などの少なさ	1	2	3	4	⑤通勤・通学などの利便	1	2	3	4	⑥日常の買い物、医療・福祉施設・文化施設などの利便	1	2	3	4	⑦子供の遊び場・公園など	1	2	3	4	⑧緑・水辺など自然とのふれあい	1	2	3	4	⑨敷地の広さや日当たり、風通しなど空間のゆとり	1	2	3	4	⑩まちなみ・景観	1	2	3	4	⑪近隣の人たちやコミュニティとの関わり	1	2	3	4	1 ・設問の変更 設問順を変更((オ)へ) (オ) 現在お住まいの住宅のまわりの環境についてうかがいます。次に示す16～30のそれぞれの項目について、どのように思っていますか。右に示す4段階の満足度のうちあてはまるもの1つに○をつけて下さい。 ・選択肢の変更 16. 火災・地震・水害などに対する安全 17. 敷地やまわりのバリアフリー化の状況 18. まわりの道路の歩行時の安全 19. 治安、犯罪発生の防止 20. 騒音、大気汚染などの少なさ 21. 通勤・通学などの利便 22. 日常の買い物、医療・福祉施設・文化施設などの利便 23. 子供の遊び場・公園など 24. 緑・水辺など自然とのふれあい 25. 敷地の広さや日当たり、風通しなど空間のゆとり 26. まちなみ・景観 27. 親や親戚の住宅との距離 28. 近隣の人たちやコミュニティとの関わり 29. 福祉・介護等の生活支援サービスの状況 30. 子育て支援サービスの状況	・政策の対象が、住宅や住環境等のハード面だけでなく、居住サービス等のソフト面を含めた住生活に拡大されたことを考慮し、居住環境に関する選択肢を追加。
		満足している	まあ満足している	多少不満がある	非常に不満がある																																																											
	①火災・地震・水害などに対する安全	1	2	3	4																																																											
②まわりの道路の歩行時の安全	1	2	3	4																																																												
③治安、犯罪発生の防止	1	2	3	4																																																												
④騒音、大気汚染などの少なさ	1	2	3	4																																																												
⑤通勤・通学などの利便	1	2	3	4																																																												
⑥日常の買い物、医療・福祉施設・文化施設などの利便	1	2	3	4																																																												
⑦子供の遊び場・公園など	1	2	3	4																																																												
⑧緑・水辺など自然とのふれあい	1	2	3	4																																																												
⑨敷地の広さや日当たり、風通しなど空間のゆとり	1	2	3	4																																																												
⑩まちなみ・景観	1	2	3	4																																																												
⑪近隣の人たちやコミュニティとの関わり	1	2	3	4																																																												
住宅及び居住環境に対する総合評価	5 (オ) 現在お住まいの住宅及びそのまわりの環境について総合的にみてどのように思っていますか。 1. 満足している 2. まあ満足している 3. 多少不満がある 4. 非常に不満がある	1 設問順を変更((ア)へ)	・住宅・居住環境に関する総合評価(満足度)、住宅・居住環境の各要素に対する評価(満足度)、重要度が一連の調査事項として記入者が理解しやすいよう、設問順を変更。																																																													
【追加設問】 住宅及び居住環境において重要な点、重要ではない点	追7	X	1 ・設問の追加 (カ) (エ)(オ)に示す01～30の項目から最も重要だと思うものを1つ選んで下さい。また、上記に続いて重要だと思うものとほとんど重要だと思わないものについて、それぞれ4つまで選んで下さい。 最も重要だと思うもの <input type="text"/> 上記に続いて重要だと思うもの <input type="text"/> 、 <input type="text"/> 、 <input type="text"/> 、 <input type="text"/> ほとんど重要だと思わないもの <input type="text"/> 、 <input type="text"/> 、 <input type="text"/> 、 <input type="text"/>	・従来からある満足度評価だけでなく、重要度評価を行い、満足度と重要度の相関を把握することは政策評価や今後の住宅政策に対する需要を的確に把握する上で重要であり、住宅や居住環境の要素に対する重要度評価に関する調査事項を新設。 ・また、住宅及び居住環境の各要素の中で優先順位を付けさせることで、様々な住宅への要求の中で国民が何を優先させているかを把握することができ、住宅政策などの優先順位を決定する上で重要である。																																																												
住居費負担に対する評価	7 現在の家賃やローン返済金又は割賦金などの住居費負担についてどう感じですか。 1. 生活必需品を切りつめるほど苦しい 2. ぜいたくはできないが、何とかやっつけている 3. ぜいたくを多少がまんしている 4. 家計に余り影響がない	2 (変更なし)																																																														

：平成20年住宅・土地統計調査(案)との同世帯配布を実施するため削除となる調査事項

：住生活基本計画(都道府県計画)の成果指標を推計する上で必要な調査事項

：左記以外で、住生活基本計画(都道府県計画)を策定する上で分析対象となっている調査事項

：都道府県への意見照会(H19.3)で選択肢の変更要望があった調査事項

調査事項		平成15年住宅需要実態調査		平成20年住生活総合調査(案) (下線:平成15年調査からの変更箇所)		変更理由等																																												
居住実態	[追加設問] 世帯の周辺事情において最近変わった点	追 8		3	<ul style="list-style-type: none"> 設問の追加 (イ) 最近5年間(平成15年12月以降)にあなたの世帯の周辺事情は変化しましたか。あてはまるものすべてに○をつけて下さい。 [世帯の独立・分離] 1. 就職や結婚などによりあなたの世帯が独立した 2. 離婚などによりあなたの世帯が分離した 3. 親または子供などと同居した [世帯人員の変化] 4. 子どもの誕生や親等との同居などにより世帯人員が増えた 5. 死別や子どもの独立などにより世帯人員が減った [その他] 6. 上記の変化はなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅需要に関するより詳細かつ精緻な分析を行うため、最近5年間の世帯の周辺事情の変化を把握する調査事項を新設。これを記入者すべてについて把握する調査事項とする。 																																												
	最近の居住状況の変化	8	<p>最近5年間(平成11年1月以降)にあなたの世帯が居住するための住宅は変化しましたか。01~13からあてはまるもの1つに○をつけて下さい。</p> <p>*2つ以上の変化があった場合、最近のもの1つに○をつけて下さい。</p> <table border="0"> <tr> <td>[変化した(住む所が変わった)]</td> <td>01. 親・子・親族の家に移った</td> </tr> <tr> <td></td> <td>02. 親・子・親族の家に移り、リフォームを行った</td> </tr> <tr> <td></td> <td>03. 親の家を建て替えて同居した</td> </tr> <tr> <td></td> <td>04. 家を新築した、または新築の分譲住宅を買った</td> </tr> <tr> <td></td> <td>05. 中古住宅を買った</td> </tr> <tr> <td></td> <td>06. 中古住宅を買って、リフォームを行った</td> </tr> <tr> <td></td> <td>07. 賃貸住宅、給与住宅に移転した</td> </tr> <tr> <td></td> <td>08. その他</td> </tr> <tr> <td>[変化した(住む所は変わらなかった)]</td> <td>09. リフォームを行った</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10. 前の住宅を壊して建て替えた</td> </tr> <tr> <td></td> <td>11. 親・子の住宅の敷地内に新築した</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12. その他</td> </tr> <tr> <td>[変化しなかった]</td> <td>13. 住む所も住宅も変化しなかった</td> </tr> </table>	[変化した(住む所が変わった)]	01. 親・子・親族の家に移った		02. 親・子・親族の家に移り、リフォームを行った		03. 親の家を建て替えて同居した		04. 家を新築した、または新築の分譲住宅を買った		05. 中古住宅を買った		06. 中古住宅を買って、リフォームを行った		07. 賃貸住宅、給与住宅に移転した		08. その他	[変化した(住む所は変わらなかった)]	09. リフォームを行った		10. 前の住宅を壊して建て替えた		11. 親・子の住宅の敷地内に新築した		12. その他	[変化しなかった]	13. 住む所も住宅も変化しなかった	3	<ul style="list-style-type: none"> 選択肢の変更 [変化した(住む所が変わった)] 01. 親・子・親族の家に移った 02. 親・子・親族の家に移り、リフォームを行った 03. 親の家を建替えて同居を始めた 04. 家を新築した、または新築の分譲住宅を買った 05. 中古住宅を買った 06. 中古住宅を買って、リフォームを行った 07. 賃貸住宅、給与住宅に移転した 08. その他 [変化した(住む所は変わらなかった)] 09. リフォームを行った 10. 前の住宅を壊して建替えた 11. 親・子の住宅の敷地内に新築した 12. その他 [変化しなかった] 13. 住む所も住宅も変化しなかった 	<ul style="list-style-type: none"> 設問意図を明確にするために、選択肢の表現を変更。 																		
[変化した(住む所が変わった)]	01. 親・子・親族の家に移った																																																	
	02. 親・子・親族の家に移り、リフォームを行った																																																	
	03. 親の家を建て替えて同居した																																																	
	04. 家を新築した、または新築の分譲住宅を買った																																																	
	05. 中古住宅を買った																																																	
	06. 中古住宅を買って、リフォームを行った																																																	
	07. 賃貸住宅、給与住宅に移転した																																																	
	08. その他																																																	
[変化した(住む所は変わらなかった)]	09. リフォームを行った																																																	
	10. 前の住宅を壊して建て替えた																																																	
	11. 親・子の住宅の敷地内に新築した																																																	
	12. その他																																																	
[変化しなかった]	13. 住む所も住宅も変化しなかった																																																	
変化した方	居住状況の変化の理由	9	<p>(ア) 変化した理由は何ですか。01~21から主なものを2つまで選んで順番をつけて下さい。</p> <p>第1位 <input type="checkbox"/></p> <p>第2位 <input type="checkbox"/></p> <table border="0"> <tr> <td>[身辺事情]</td> <td>01. 結婚や離婚などによる世帯の分離や独立のため</td> <td>[環境に対する不満]</td> <td>11. 地震・台風時の安全性に問題があったため</td> </tr> <tr> <td></td> <td>02. 子どもの誕生などのため</td> <td></td> <td>12. 犯罪に対する安全性に問題があったため</td> </tr> <tr> <td></td> <td>03. 就職、転職、転勤などのため</td> <td></td> <td>13. 通勤、通学、買い物などが不便だったため</td> </tr> <tr> <td></td> <td>04. 親または子供との同居のため</td> <td></td> <td>14. 日照、通風、騒音、子供の遊び場などの環境条件が悪かったため</td> </tr> <tr> <td></td> <td>05. 家を相続したため</td> <td></td> <td>15. 高齢期にも住みやすい住宅や環境にするため</td> </tr> <tr> <td>[住宅に対する不満]</td> <td>06. 住宅が狭かった、または狭くなったため</td> <td>[これからの生活に備えるため]</td> <td>16. 資産を形成したかった(不動産を所有したかった)ため</td> </tr> <tr> <td></td> <td>07. 住宅がいたんでいたため</td> <td></td> <td>17. 住宅や庭等の維持管理が大変だったため</td> </tr> <tr> <td></td> <td>08. 高齢者等への配慮(段差がないなど)が不十分だったため</td> <td></td> <td>18. 子供の成長や教育のため</td> </tr> <tr> <td></td> <td>09. 断熱性や換気性能、採光など住宅の居住性能に問題があったため</td> <td>[その他]</td> <td>19. さしあたり不満はなかったがよい住宅にしたかったため</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10. ローン、家賃などの住居費負担が大きかったため</td> <td></td> <td>20. 立ち退き要求、契約期限切れのため</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>21. その他</td> </tr> </table>	[身辺事情]	01. 結婚や離婚などによる世帯の分離や独立のため	[環境に対する不満]	11. 地震・台風時の安全性に問題があったため		02. 子どもの誕生などのため		12. 犯罪に対する安全性に問題があったため		03. 就職、転職、転勤などのため		13. 通勤、通学、買い物などが不便だったため		04. 親または子供との同居のため		14. 日照、通風、騒音、子供の遊び場などの環境条件が悪かったため		05. 家を相続したため		15. 高齢期にも住みやすい住宅や環境にするため	[住宅に対する不満]	06. 住宅が狭かった、または狭くなったため	[これからの生活に備えるため]	16. 資産を形成したかった(不動産を所有したかった)ため		07. 住宅がいたんでいたため		17. 住宅や庭等の維持管理が大変だったため		08. 高齢者等への配慮(段差がないなど)が不十分だったため		18. 子供の成長や教育のため		09. 断熱性や換気性能、採光など住宅の居住性能に問題があったため	[その他]	19. さしあたり不満はなかったがよい住宅にしたかったため		10. ローン、家賃などの住居費負担が大きかったため		20. 立ち退き要求、契約期限切れのため				21. その他	4	<ul style="list-style-type: none"> 設問の変更 (ア) 変化した理由は何ですか。01~22から主なものを2つまで選んで順番をつけて下さい。 [身辺事情] 01. 就職や結婚などによる世帯の独立のため 02. 離婚などによる世帯の分離のため 03. 子どもの誕生などのため 04. 就職、転職、転勤などのため 05. 親または子供との同居のため 06. 家を相続したため [住宅に対する不満] 07. 住宅が狭かった、または狭くなったため 08. 住宅がいたんでいたため 09. 高齢者等への配慮(段差がないなど)が不十分だったため 10. 断熱性や換気性能、採光などの住宅の居住性能に問題があったため 11. ローン、家賃などの住居費負担が大きかったため [環境に対する不満] 12. 地震・台風時の安全性に問題があったため 13. 犯罪に対する安全性に問題があったため 14. 通勤、通学、買い物などが不便だったため 15. 日照、通風、騒音、子供の遊び場などの環境条件が悪かったため [これからの生活に備えるため] 16. 高齢期にも住みやすい立地・環境に住むため 17. 資産を形成したかった(不動産を所有したかった)ため 18. 住宅や庭等の維持管理が大変だったため 19. 子供の成長や教育のため [その他] 20. さしあたり不満はなかったがよい住宅にしたかったため 21. 立ち退き要求、契約期限切れのため 22. その他 	<ul style="list-style-type: none"> 世帯分離等の要因の多様化に対応するため、選択肢を追加、変更。 また、高齢期に備えた住み替え需要を把握するため、選択肢を追加。
[身辺事情]	01. 結婚や離婚などによる世帯の分離や独立のため	[環境に対する不満]	11. 地震・台風時の安全性に問題があったため																																															
	02. 子どもの誕生などのため		12. 犯罪に対する安全性に問題があったため																																															
	03. 就職、転職、転勤などのため		13. 通勤、通学、買い物などが不便だったため																																															
	04. 親または子供との同居のため		14. 日照、通風、騒音、子供の遊び場などの環境条件が悪かったため																																															
	05. 家を相続したため		15. 高齢期にも住みやすい住宅や環境にするため																																															
[住宅に対する不満]	06. 住宅が狭かった、または狭くなったため	[これからの生活に備えるため]	16. 資産を形成したかった(不動産を所有したかった)ため																																															
	07. 住宅がいたんでいたため		17. 住宅や庭等の維持管理が大変だったため																																															
	08. 高齢者等への配慮(段差がないなど)が不十分だったため		18. 子供の成長や教育のため																																															
	09. 断熱性や換気性能、採光など住宅の居住性能に問題があったため	[その他]	19. さしあたり不満はなかったがよい住宅にしたかったため																																															
	10. ローン、家賃などの住居費負担が大きかったため		20. 立ち退き要求、契約期限切れのため																																															
			21. その他																																															
	従前の世帯人員	9	<p>(イ) 変化する前の世帯人員(世帯主を含む)は何人でしたか。</p> <p>○変化する前の世帯人員…… <input type="checkbox"/> 人</p> <p>*単身赴任などで3ヶ月以上不在の人は除きます。 *住み込みの家事手伝いも含めます。住み込みの従業員や下宿人は別の世帯として人員から除きます。</p>	3	<p>設問順を変更(問3へ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 設問の変更 最近5年間(平成15年12月以降)にあなたの世帯や住所、居住するための住宅の変化の状況についてうかがいます。(変化しなかった方も答えて下さい) (ア) 5年前の世帯人員(世帯主を含む)は何人でしたか。 5年前の世帯人員…… <input type="checkbox"/> 人 *単身赴任、出稼ぎなどでこの住居を離れて3ヶ月以上(その見込みを含む)になる人は除きます。 *住み込みの家事手伝いも含めます。住み込みの従業員や下宿人は別の世帯として人員から除きます。 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅需要に関するより詳細かつ精緻な分析を行うため、枝問であった「従前の世帯人員」を記入者すべてについて把握する「5年前の世帯人員」へ変更。 																																												

:平成20年住宅・土地統計調査(案)との同世帯配布を実施するため削除となる調査事項

:住生活基本計画(都道府県計画)の成果指標を推計する上で必要な調査事項

:左記以外で、住生活基本計画(都道府県計画)を策定する上で分析対象となっている調査事項

:都道府県への意見照会(H19.3)で選択肢の変更要望があった調査事項